

平成 21 年 8 月 26 日

各 位

神奈川県横須賀市小川町 14 番地ー 1
株式会社ネットワークバリューコンポネンツ
代表取締役 渡部 進
(コード番号：3394 東証マザーズ)
問合わせ先 取締役アドミニストレーション部
ディレクター 寺田 賢太郎
TEL 046-828-1804

LSN クラウド・サービスの提供準備開始に関するお知らせ

当社は添付の資料のとおり、電気通信事業者向け IPv4 アドレス枯渇対策ソリューションとして、ひとつの IPv4 グローバルアドレスで多数の IPv4 プライベートアドレスの利用者を収容する「LSN クラウド・サービス」の提供準備を開始いたします。

なお、本件による業績への影響は軽微であると見ております。

以 上

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

LSN クラウド・サービスの提供準備を開始 ～IPv4 アドレス枯渇対策への迅速な対応をサポート～

記

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ（本社：神奈川県横須賀市、代表取締役：渡部 進、以下略称：NVC、東証マザーズ：3394）は、社内プロジェクト（JPTRANS：ジェイピートランス <http://www.jptrans.jp/>）を発足し、電気通信事業者向けIPv4^{#1}アドレス枯渇対策ソリューションとして、ひとつのIPv4 グローバルアドレスで多数のIPv4 プライベートアドレスの利用者を収容する「LSN^{#2}クラウド^{#3}・サービス」の提供準備を開始いたします。

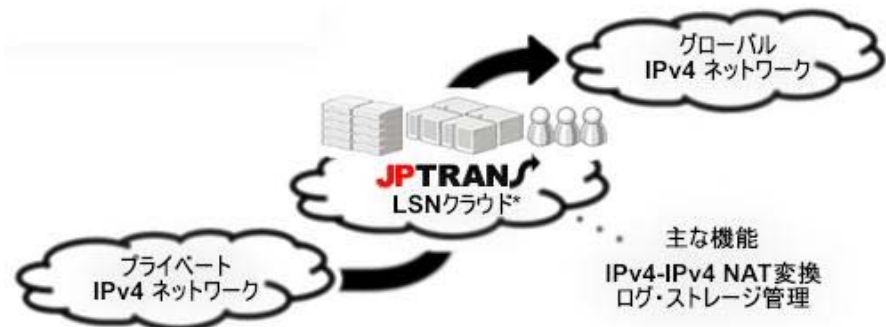
1. 提供サービスの背景

IPv4 グローバルアドレスは 2011 年以降に枯渇することが予想されており、電気通信事業者ではアドレス枯渇により、新規ユーザー収容が困難となるなど、サービス継続性への懸念が高まっています。本サービスは、新規ユーザーにIPv4 プライベートアドレスを割り当て、少数のIPv4 グローバルアドレスを用いたNAT^{#4}による多重化を行うことで、アドレス利用効率を高めるIPv4 アドレス枯渇対策ソリューションを電気通信事業者向けに、広域イーサ・専用回線・インターネットVPN等を経由して提供するクラウド型サービスです。主要サービスとして、大規模NAT変換機能およびログ管理機能を一元的に提供することにより、電気通信事業者におけるIPv4 アドレス枯渇対策の初期導入コスト軽減とランニングコスト削減を目指します。

2. 提供サービスの概要

実験サービス開始予定月	2009 年 9 月
正式サービス開始予定月	2010 年 上期
サービス・エリア予定	首都圏主要 IX・IDC、東北エリア
サービス内容	通信回線を利用して IPv4 プライベートアドレスを IPv4 グローバルアドレスへ変換する機能の提供

[サービス提供イメージ]



大規模IPv4-IPv4 NAT変換機能を、ネットワーク接続によりご提供いたします。

*LSN Cloud: Large Scale Network Address Translation Cloud Computing Infrastructure

3. その他

【株式会社ネットワークバリューコンポネンツについて】

ネットワークバリューコンポネンツは、ネットワーク草創期から常に最先端製品を開拓してきたネットワークインテグレータです。ネットワーク製品の提供から、開発、コンサルティング、構築・保守まで、最先端技術と、豊富な知識・ノウハウ、斬新な企画・発想力を駆使して、あらゆるネットワークフェーズをトータルにサポートしています。

本社所在地	神奈川県横須賀市小川町 14-1
設立	平成 2 年 4 月
資本金	366,759,550 円
代表者	代表取締役 渡部 進
従業員数(単体)	88 名 (平成 21 年 6 月末現在)
事業内容	コンピュータネットワーク関連製品の企画、開発、輸入、販売、ネットワークデザイン、構築、コンサルティング、監視・管理
主要仕入先	Array Networks、Arista Networks、Aruba Networks、Fortinet、H3C Technology、Isilon Systems、Ironport Systems、Loglogic、Imperva、Xsigo System ほか
URL	http://www.nvc.co.jp

【用語補足】

#1 : IPv4 (Internet Protocol Version 4)

インターネット上でコンピューター同士が通信する際にお互いを識別するための番号。使用可能な番号は約 42 億台。しかし、当初の予想を上回るインターネットユーザーの増加により、番号が足りなくなる恐れがあり、新規格の IPv6 プロトコルが開発された。

#2 : LSN (large Scale Network Address Translation)

LSN とは、インターネットサービスプロバイダ (ISP) などの電気通信事業者が、内部のネットワークと外部ネットワークの分界点付近でネットワークアドレス変換 (NAT^{#4}) を行うこと。IPv4 アドレス枯渇問題の有力な対策案のひとつ。

#3 : クラウド

企業や個人において、自身でコンピューターやストレージなどを保有・管理することなく、ネットワークを通じて特定機能を利用するサービス形態。

#4 : NAT (Network Address Translation)

インターネット上でコンピューター同士が通信する際にお互いを識別するための番号を複数ユーザーで共有する仕組み。インターネットユーザーの増加により通信を行うための識別番号が足りなくなる恐れがあり資源の有効活用を行うために開発された。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

報道関係者の皆さま

マーケティング担当：佐伯 TEL 03-5783-1502 E-mail press@nvc.co.jp

投資家の皆さま

IR 担当： 寺田 TEL 046-828-1804 E-mail ir@nvc.co.jp